

今年、西日本地方よりも早く、関東甲信越地方が梅雨入りしました。梅雨入りは沖縄が一番早く、桜前線のように徐々に北に向けて進んでいくような印象を受けますが、今年の例を見ると必ずしもそういうわけではないようです。

「梅雨」とは、オホーツク海高気圧と太平洋高気圧がぶつかり合い、せめぎ合って上昇気流が生まれ、上空に上がって冷やされた水蒸気が雨となる気象現象です。

梅雨は夏の季語ですが、それ以外にも風情を感じさせる言葉がたくさんあります。

梅の雨、五月雨、走り梅雨、梅雨時、青梅雨（あおつゆ）、梅雨雲、梅雨雷、梅雨寒、梅雨冷、荒梅雨、梅雨晴、乾梅雨（からつゆ）、送り梅雨、返り梅雨、戻り梅雨、梅雨明け…。

この時季を詠んだ俳句も数多くあります。俳句にしてみると、このじめじめした時期もなんだか親近感がわいて、愛すべき季節のように思えてくるから不思議ですね。「梅雨晴れの 夕茜して すぐ消えし (高浜虚子)」

今週の えんてい  
月曜日はえんていきさの日 *eee*  
多くの子がまか、午前「きさ」と午後の  
きさの時間を楽しみにされています。  
今週も、それぞれ選んだ飲み物を  
楽しんでいらしました。  
至福の時間です。

おもいやりクループ  
直志所 玉ねぎフェア(6/8)  
チラシを小宮団地に  
みんなにポストインク  
暑い中、休憩しながら  
かんぱりました♡

スウ  
\*梅雨入り  
あまがほ  
雨合羽を着てはじや作業しています。  
いぶき  
\*実習生との作業も楽しみます。  
\*自己紹介では取組んでいる作業を  
発表していました。

つくりか  
先週も今週も数日  
実習生が作業に参ります。  
先輩との手紙と作業の様子を  
見せたい、教えてあげたい作業が沢山あり